

参考資料 調査票

(1) 小学生

児童生徒の生活に関するアンケート調査(小学生)

I. あなたについて

問1 あなたの学年を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 小学5年 2. 小学6年

問2 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 男子 2. 女子 3. その他 4. 答えない

問3 あなたが現在一緒に住んでいるのは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. お母さん 2. お父さん 3. おばあさん 4. おじいさん
5. 兄・姉⇒()人 6. 弟・妹⇒()人 7. その他()

問4 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない

※次のページへ

Ⅱ. ふだんの生活について

問5 あなたは学校を欠席したり、遅刻や早退をしたりすることがありますか。(病気の場合を除く)

(1)欠席について(あてはまる番号1つに○)

1. ほとんど欠席しない 2. たまに欠席する 3. よく欠席する

(2)遅刻や早退について(あてはまる番号1つに○)

1. ほとんどしない 2. たまにする 3. よくする

問6 放課後、習い事をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. はい 2. いいえ

問7 ふだんの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 授業中に寝てしまうことが多い 2. 宿題ができていないことが多い
3. 持ち物の忘れ物が多い 4. 習い事を休むことが多い
5. 提出物を出すのが遅れることが多い 6. 修学旅行などの宿泊行事を欠席する
7. 保健室で過ごすことが多い 8. 学校では一人で過ごすことが多い
9. 友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない 10. 家のことが気になって落ち着けないことが多い
11. 特にない

問8 あなたが悩んでいることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友達のこと 2. 学校の成績のこと
3. 習い事のこと 4. 家族のこと
5. 生活や勉強に必要なお金のこと 6. 自分のために使える時間が少ないこと
7. その他() 8. 特にない ⇒問10へ

問9 問8で1.～7.のいずれかに○をつけた人にお聞きします。○をつけた悩みについて、話を聞いてくれる人はいますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いる 2. いない 3. 話はしたくない

Ⅲ. 家庭や家族のことについて

問10 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します)(あてはまる番号1つに○)

1. いる	2. いない⇒問20へ
-------	-------------

問11 問10で「1. いる」と答えた人にお聞きします。あなたは誰にどのようなお世話をしていますか。

(1)お世話をしている人(あてはまる番号すべてに○)

1. お母さん	→ (2)①の質問へ進んでください
2. お父さん	
3. おばあさん	→ (2)②の質問へ進んでください
4. おじいさん	
5. きょうだい	→ (2)③の質問へ進んでください
6. その他()	→ (2)④の質問へ進んでください

お世話をしている人が何人いる場合には、それぞれについてお答えください。

(2)お世話を必要としている人の状況について教えてください。

① お母さん、あるいはお父さんをお世話をしている人にお聞きします。お母さん、お父さんはどのような状態ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 高齢(65歳以上)	2. 介護(食事や身の回りの世話)が必要
3. 認知症	4. 身体障害
5. 知的障害	6. こころの病気(うつ病など)
7. お酒やギャンブルで困っている	8. 6、7以外の病気
9. 日本語が苦手	10. 仕事が忙しく、つかれている
11. お母さんが妊娠中・乳幼児がいる	12. その他()
13. わからない	

(2)お世話をしている方の状況やあなたが行っているお世話について教えてください。

① 母親、父親をお世話している方にお聞きします。それはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 高齢(65歳以上) | 2. 介護(食事や身の回りの世話)が必要 |
| 3. 認知症 | 4. 身体障害 |
| 5. 知的障害 | 6. 精神科の病気 |
| 7. お酒やギャンブルの問題がある | 8. 6、7以外の病気 |
| 9. 日本語が苦手 | 10. 仕事が忙しく、つかれている |
| 11. 母親が妊娠中・乳幼児がいる | 12. その他() |
| 13. わからない | |

② 祖父、祖母をお世話している方にお聞きします。それはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 高齢(65歳以上) | 2. 介護(食事や身の回りの世話)が必要 |
| 3. 認知症 | 4. 身体障害 |
| 5. 知的障害 | 6. 精神科の病気 |
| 7. お酒やギャンブルの問題がある | 8. 6、7以外の病気 |
| 9. 日本語が苦手 | 10. その他() |
| 11. わからない | |

③ きょうだいをお世話している方にお聞きします。それはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 1. 若い | 2. 介護(食事や身の回りのお世話)が必要 |
| 3. 身体障害 | 4. 知的障害 |
| 5. 病気 | 6. 日本語が苦手 |
| 7. その他() | 8. わからない |

(3)あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話をしている人が何人いる場合には、あてはまる番号すべてに○をしてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 家事(食事の準備や掃除、洗濯) | 2. きょうだいのお世話や送り迎え |
| 3. 入浴やトイレのお世話 | 4. 買い物や散歩と一緒にいく |
| 5. 病院へ一緒に行く | 6. 話を聞く |
| 7. 見守り | 8. 通訳(日本語や手話など) |
| 9. お金の管理 | 10. 薬の管理 |
| 11. その他() | |

(4)あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。何人かお世話をしている人がいる場合には、あてはまる番号すべてに○をしてください。

- | | | | |
|----------------------|-----------|----------|----------|
| 1. お母さん | 2. お父さん | 3. おばあさん | 4. おじいさん |
| 5. きょうだい | 6. しんせきの人 | 7. 自分のみ | |
| 8. 福祉サービス(ヘルパーなど)を利用 | 9. その他() | | |

(5)あなたは何才からお世話をしていますか。(はっきりとわからない場合は、だいたいの年でかまいません)

()才から

(6)あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～5日 | 3. 週に1～2日 |
| 4. 1ヶ月に数日 | 5. その他() | |

(7)あなたは学校のある日に何時間くらいお世話をしていますか。日によって違う場合は、この1ヶ月でいちばん長かった日の時間を教えてください。(数字を記入)

1日()時間くらい

問12 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 学校に行きたくても行けない | 2. どうしても学校を遅刻・早退してしまう |
| 3. 宿題など勉強する時間がない | 4. 学校の行事や活動に参加できない |
| 5. 眠る時間が足りない | 6. 友だちと遊ぶことができない |
| 7. 習い事ができない | 8. 自分の時間が取れない |
| 9. その他() | 10. 特にない |

問13 お世話をすることに大変さを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|-----------------|
| 1. 体力の面で大変 | 2. 気持ちの面で大変 | 3. 時間の余裕がない | 4. 特に大変さは感じていない |
|------------|-------------|-------------|-----------------|

問14 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ある ⇒問15へ | 2. ない ⇒問16へ |
|-------------|-------------|

問15 問14で「1. ある」と答えた人にお聞きします。それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------------------|----------------------|
| 1. 家族(お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、きょうだい) | 2. しんせき(おじさん、おばさんなど) |
| 3. 友だち | 4. 学校の先生(保健室の先生以外) |
| 5. 保健室の先生 | 6. スクールカウンセラー |
| 7. 病院・医療・福祉サービスの人 | 8. 近所の人 |
| 9. SNS(LINEなど)上での知り合い | 10. 市役所の人 |
| 11. 民生委員・児童委員の人 | 12. その他() |

⇒問15を回答したら問18へ進んでください

問16 問14で「2. ない」と答えた人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 相談するほどの悩みではないから | 2. 誰に相談するのがよいかわからないから |
| 3. 相談できる人がいないから | 4. 家族のことを話したくないから |
| 5. 家族から他人に相談しないように言われているから | 6. 家族に対して嫌な思いを持たれたくないから |
| 7. 相談しても何も変わらないから | 8. その他() |

問17 問14 で「2. ない」と答えた人にお聞きします。あなたがお世話している家族のことや、お世話を
の悩みを聞いてくれる人はいますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問18 学校や周りの大人にしてもらいたいことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--|------|
| 1. 自分のことについて話を聞いてほしい | 問19へ |
| 2. 家族のお世話について相談にのってほしい | |
| 3. 自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい(ヘルパーなど) | 問20へ |
| 4. 自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい(ヘルパーなど)
→具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか() | |
| 5. 家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい | |
| 6. 自由に使える時間がほしい | |
| 7. 勉強を教えてほしい | |
| 8. お金の面で支援してほしい | |
| 9. その他() | |
| 10. 特にない | |
| 11. わからない | |

問19 問18 で「1. 自分のことについて話を聞いてほしい」または「2. 家族のお世話について相談に
のってほしい」と答えた人にお聞きします。どのような方法で話を聞いたり相談にのったりし
てほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|----------|-----------|-----------------|
| 1. 直接会って | 2. 電話 | 3. SNS (LINEなど) |
| 4. 電子メール | 5. その他() | |

問20 子どもの権利について下の文章を読んでお答えください。

「子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)」では、以下のような権利を子どもに保障しており、子どもにとって一番いいことは何かということを中心にしなければならぬと述べています。

【生きる権利】

栄養のある食事をとったり、病気やけがをしたら治療を受けられること。など

【育つ権利】

教育を受け、休んだり遊んだりできること。

考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができること。など

【守られる権利】

あらゆる種類の差別やまわりからの暴力から守られること。など

【参加する権利】

自由に意見を言ったり、いろいろな活動に参加したりできること。など

あなたは、自分の権利が守られていると思いますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|------------|---------------|---------------|
| 1. 守られている | 2. だいたい守られている | 3. あまり守られていない |
| 4. 守られていない | 5. わからない | |

問21 家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、こうしてほしいと思うこと、他にも困っていることがあれば自由に書いてください。

問22 最後に、家族のお世話について悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「何かしてほしい」と思っている人のみ、こちらに学校名とお名前を書いてください。

※こちらにお名前を書いた場合、うきは市がお名前やアンケートの内容を確認し、お話を聞かせてもらうために、学校経由で連絡をする可能性があります。個人情報は守られますので、安心してください。

がっこうめい 学校名:
なまえ お名前:

家族のお世話をするとは、とても価値のある大切なことです。ただ、お世話の負担が大きいと気持ちや体力の面で大変な思いをすることがあるかもしれません。

あなた自身、あるいは友だちなどで、家族のお世話をすることで悩みや心配なことがある場合には、学校の先生などへ相談してください。

－アンケートにご協力いただき、どうもありがとうございました。－

相談したいけど問22に書きたくない人は、直接「うきは市子ども家庭相談室」(電話:0943-73-9151)に電話することもできます。うきは市役所 子ども家庭総合支援拠点につながります。子どもの相談を受ける専門の相談員が対応するので安心してください。そうじや料理、家のことのお手伝いもできます。

(2) 中学生

じどうせいと せいかつ かん ちようさ ちゆうがくせい
 児童生徒の生活に関するアンケート調査(中学生)

I. あなたについて

とい 問1 あなたの学年を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 中学1年 2. 中学2年 3. 中学3年

とい 問2 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 答えない

とい 問3 あなたが現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父
 5. 兄・姉⇒()人 6. 弟・妹⇒()人 7. その他()

とい 問4 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない

つぎ
 ※次のページへ

Ⅱ. 普段の生活について

問5 学校への通学状況(病気の場合を除く)について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

(1)欠席の状況

- | | | |
|--------------|------------|-----------|
| 1. ほとんど欠席しない | 2. たまに欠席する | 3. よく欠席する |
|--------------|------------|-----------|

(2)遅刻や早退の状況

- | | | |
|------------|----------|---------|
| 1. ほとんどしない | 2. たまにする | 3. よくする |
|------------|----------|---------|

問6 部活動(学校外での活動を含む)や習い事をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問7 普段の学校生活であてはまるものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1. 授業中に居眠りすることが多い | 2. 宿題や課題ができていないことが多い |
| 3. 持ち物の忘れ物が多い | 4. 部活動や習い事を休むことが多い |
| 5. 提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い | |
| 6. 修学旅行などの宿泊行事を欠席する | 7. 保健室で過ごすことが多い |
| 8. 学校では一人で過ごすことが多い | 9. 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない |
| 10. 家のことが気になって落ち着けないことが多い | 11. 特にない |

問8 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. 友人との関係のこと | 2. 学業成績のこと |
| 3. 進路のこと | 4. 部活動のこと |
| 5. 学費など学校生活に必要なお金のこと | 6. 塾(通信含む)や習い事のこと(行きたくても行けないなど) |
| 7. 家庭の経済的状況のこと | 8. 自分と家族との関係のこと |
| 9. 家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くないなど) | 10. 病気や障害のある家族のこと |
| 11. 自分のために使える時間が少ないこと | 12. その他() |
| 13. 特にない ⇒ 問10 へ | |

問9 問8 で 1.~12.のいずれかを回答した方にお聞きします。回答した悩みや困りごとについて、相談のつてくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 相談相手や話を聞いてくれる人がいる 2. 相談相手や話を聞いてくれる人がいない
3. 相談や話をしたくない

問10 進路希望についておたずねします。あなたは将来どの学校まで行きたいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 中学校まで 2. 高校まで 3. 短期大学・専門学校まで 4. 大学・大学院まで
5. その他() 6. わからない

Ⅲ. 家庭や家族のことについて

問11 家族の中にあなたがお世話をしている方はいますか。(ここで「お世話」とは本来、大人がすると考えられる食事のしたく、洗たくなどの家事や家族のお世話などを日常的にすることです。)(あてはまる番号1つに○)

1. いる 2. いない ⇒問22へ

問12 問11で「1. いる」と回答した方にお聞きします。お世話の状況について教えてください。

(1)お世話をしている方(あてはまる番号すべてに○)

1. 母親	2. 父親	→	(2)①の質問へ進んでください
3. 祖母	4. 祖父	→	(2)②の質問へ進んでください
5. きょうだい		→	(2)③の質問へ進んでください
6. その他()		→	(2)④の質問へ進んでください

※次のページへ

お世話をしている人が何人いる場合には、それぞれについてお答えください。

(2)お世話をしている方の状況やあなたが行っているお世話について教えてください。

① 母親、父親をお世話している方にお聞きします。それはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 高齢(65歳以上)	2. 介護(食事や身の回りの世話)が必要
3. 認知症	4. 身体障害
5. 知的障害	6. 精神科の病気
7. お酒やギャンブルの問題がある	8. 6、7以外の病気
9. 日本語が苦手	10. 仕事が忙しく、つかれている
11. 母親が妊娠中・乳幼児がいる	12. その他()
13. わからない	

② 祖父、祖母をお世話している方にお聞きします。それはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 高齢(65歳以上)	2. 介護(食事や身の回りの世話)が必要
3. 認知症	4. 身体障害
5. 知的障害	6. 精神科の病気
7. お酒やギャンブルの問題がある	8. 6、7以外の病気
9. 日本語が苦手	10. その他()
11. わからない	

③ きょうだいをお世話している方にお聞きします。それはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 若い	2. 介護(食事や身の回りのお世話)が必要
3. 身体障害	4. 知的障害
5. 病気	6. 日本語が苦手
7. その他()	8. わからない

④「その他」の人をお世話している方にお聞きします。それはどのような理由ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 高齢(65歳以上) | 2. 幼い |
| 3. 介護(食事や身の回りのお世話)が必要 | 4. 認知症 |
| 5. 身体障害 | 6. 知的障害 |
| 7. 精神科の病気 | 8. お酒やギャンブルの問題がある |
| 9. 7、8以外の病気 | 10. 日本語が苦手 |
| 11. その他() | 12. わからない |

(3)あなたがしているお世話の内容を教えてください。何人かいる場合はあてはまる番号を選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|-------------------------|------------------------------|----------|
| 1. 家事(食事の準備や掃除、洗たくなど) | 2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など | |
| 3. 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など) | 4. 外出の付き添い(買い物、散歩など) | |
| 5. 病院への付き添い | 6. 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど) | |
| 7. 見守り | 8. 通訳(日本語や手話など) | 9. お金の管理 |
| 10. 薬の管理 | 11. その他() | |

(4)お世話は誰と行っていますか。何人かいる場合はあてはまる番号を選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | | |
|-----------|---------|---------|----------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖母 | 4. 祖父 |
| 5. きょうだい | 6. 親戚の人 | 7. 自分のみ | 8. 福祉サービス(ヘルパーなど)を利用 |
| 9. その他() | | | |

(5)お世話を始めたあなたの年齢をお答えください。(はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません)

()歳から

(6)どれくらいお世話をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～5日 | 3. 週に1～2日 |
| 4. 1ヶ月に数日 | 5. その他() | |

(7) 平日に何時間程度お世話を 行っていますか。日によって異なる場合は、この 1ヶ月で最も長かった日の時間をお答えください。(数字を記入)

1日()時間程度

問13 お世話をしているために、やりたいけど、できていないことはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1. 学校に行きたくても行けない | 2. どうしても学校を遅刻・早退してしまう |
| 3. 宿題をする時間や勉強する時間が取れない | 4. 学校の行事や活動に参加できない |
| 5. 睡眠が十分に取れない | 6. 友人と遊ぶことができない |
| 7. 部活動や習い事ができない、もしくはやめなければならなかった | 8. 進学先や就職などの進路の変更を考えないといけない、または進路を変更した |
| 9. 自分の時間が取れない | 10. その他() |
| 11. 特になし | |

問14 お世話をするなかで何につらさ・ストレスを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | | |
|--------|--------|--------------|-----------------|
| 1. 体力面 | 2. 精神面 | 3. 時間的に余裕がない | 4. 特につらさは感じていない |
|--------|--------|--------------|-----------------|

問15 お世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。
(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ある ⇒問16へ | 2. ない ⇒問17へ |
|-------------|-------------|

問16 問15で「1. ある」と回答した方にお聞きします。悩みを相談した相手は誰ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 家族(母親、父親、祖母、祖父、きょうだい) | 2. 親戚(おば、おじなど) |
| 3. 友人 | 4. 学校の先生(保健室の先生以外) |
| 5. 保健室の先生 | 6. スクールカウンセラー |
| 7. 医師や看護師、その他病院の人 | 8. ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人 |
| 9. 市役所の人 | 10. 民生委員・児童委員の人 |
| 11. 近所の人 | 12. SNS上での知り合い |
| 13. その他() | ⇒問16を回答したら問19へ進んでください |

問17 問15で「2. ない」と回答した方にお聞きします。相談していない理由を教えてください。
(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 誰かに相談するほどの悩みではない |
| 2. 家族以外の人に相談するような悩みではない |
| 3. 誰に相談するのがよいかわからない |
| 4. 誰かに相談したいが、相談できる人が身近にいない |
| 5. 誰かに相談したいが、家族のこのため話にくい |
| 6. 家族のことを知られたくない |
| 7. 家族に対して偏見をもたれたくない |
| 8. 誰かに相談したいが、家族から他人に相談しないように言われている |
| 9. 誰かに相談したいが、家族に対して嫌な思いを持たれたくない |
| 10. 相談しても状況が変わると思わない |
| 11. その他() |

問18 問15で「2. ない」と回答した方にお聞きします。お世話を必要としている家族のことや、お話を聞いてくれる人はいますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問19 あなたは家族のお世話をしている者同士で話してみたいですか(オンラインサロンなど)。(あてはまる番号1つに○)

※オンラインサロンとは、ウェブサービスや SNS などのオンラインでつながって悩みや不安を打ち明けられるコミュニティのことを指します。

1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない

問20 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい
- 2. 家族のお世話について相談にのってほしい
- 3. 自分の行っているお世話(ケア)のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい(ヘルパーなど)---
- 4. 自分の行っているお世話(ケア)の一部を代わってくれる人やサービスがほしい(ヘルパーなど)
→具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか()
- 5. 家族の病気や障害、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
- 6. 家族が適切な治療や介護保険サービスを受けられるよう手続きをしてほしい
- 7. 自由に使える時間がほしい
- 8. 進路や就職など将来の相談にのってほしい
- 9. 自分と同じような状況の人と話をして悩みを共有する場がほしい
- 10. 学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい
- 11. 収入が少ないので経済的な援助(サポート)をしてほしい
- 12. その他()
- 13. 特にない
- 14. わからない

問21へ

問22へ

問21 問20 で「1.自分のいまの状況について話を聞いてほしい」「2.家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した方にお聞きします。どのような方法で話を聞いてほしい、相談にのってほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|----------|-----------|--------|
| 1. 直接会って | 2. 電話 | 3. SNS |
| 4. 電子メール | 5. その他() | |

問22 あなたは、家族のお世話をしている子どもが悩みを相談できる以下の相談窓口を知っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 学校(担任の先生や保健室の先生) |
| 2. うきは市ヤングケアラー相談・支援窓口(TEL:0943-73-9151)
(うきは市の相談窓口です) |
| 3. 24時間子ども SOS ダイヤル(TEL:0120-0-78310)
(心の教育センターの24時間対応の電話相談窓口です) |
| 4. 児童相談所相談専用ダイヤル(TEL:0120-189-783)
(児童相談所の24時間対応の電話相談窓口です) |
| 5. 知らない |

問23 子どもの権利について下の文章を読んでお答えください。

「子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)」では、以下のような権利を子どもに保障しており、子どもにとって一番いいことは何かということを中心にしなければならないとうたっています。

【生きる権利】

栄養のある食事をとったり、病気やけがをしたら治療を受けられること。など

【育つ権利】

教育を受け、休んだり遊んだりできること。

考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができること。など

【守られる権利】

あらゆる種類の差別やまわりからの暴力から守られること。など

【参加する権利】

自由に意見を言ったり、いろいろな活動に参加したりできること。など

あなたは、自分の権利が守られていると思いますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|------------|---------------|---------------|
| 1. 守られている | 2. だいたい守られている | 3. あまり守られていない |
| 4. 守られていない | 5. わからない | |

問24 家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、こうしてほしいと思うこと、他にも困っていることがあれば自由に書いてください。

問25 最後に、家族のお世話について悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「何かしてほしい」と思っている人のみ、こちらに学校名とお名前を書いてください。

※こちらにお名前を書いた場合、うきは市がお名前やアンケートの内容を確認し、お話を聞かせてもらうために、学校経由で連絡をする可能性があります。個人情報は守られますので、安心してください。

学校名:

お名前:

家族のお世話をするとは、とても価値のある大切なことです。ただ、お世話の負担が大きいと気持ちや体力の面で大変な思いをすることがあるかもしれません。

あなた自身、あるいは友だちなどで、家族のお世話をすることで悩みや心配なことがある場合には、学校の先生などへ相談してください。

－アンケートにご協力いただき、どうもありがとうございました。－

相談したいけど問25に書きたくない人は、直接「うきは市子ども家庭相談室」(電話:0943-73-9151)に電話することもできます。うきは市役所 子ども家庭総合支援拠点につながります。子どもの相談を受ける専門の相談員が対応するので安心してください。そうじや料理、家のことのお手伝いもできます。

(3) 学校

小・中学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査

I. 基本情報

問1 ご回答される方の役職をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------|-------------------|------------|
| 1. 校長 | 2. 教頭 | 3. 主幹教諭() |
| 4. 養護教諭 | 5. スクールカウンセラー(SC) | 6. その他() |

問2 学校名をお教えてください。

学校名:

問3 貴校の小学5・6年生、中学1～3年生の在籍者数をお教えてください。(令和5年5月1日時点)

- | |
|------------|
| 小学5年生:()人 |
| 小学6年生:()人 |
| 中学1年生:()人 |
| 中学2年生:()人 |
| 中学3年生:()人 |

II. 支援が必要だと思われる子どもへの対応についてお伺いします。

問4 SCの派遣・配置状況をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 週に2日～4日派遣・配置している | 2. 週に1日程度派遣・配置している |
| 3. その他() | 4. 派遣・配置していない |

問5 下記の子どものついて校内で共有しているケースはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 学校を休みがちである | 2. 遅刻や早退が多い |
| 3. 保健室で過ごしていることが多い | 4. 精神的な不安定さがある |
| 5. 身だしなみが整っていない | 6. 学力が低下している |
| 7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い | 8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い |
| 9. 学校に必要なものを用意してもらえない | 10. 部活を途中でやめてしまった |
| 11. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する | 12. 校納金が遅れる、未払い |
| 13. その他() | |

問6 問5のケースについて、どのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。
最も多いケースでご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------------------------------|------|
| 1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している | →問7へ |
| 2. 不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している | →問7へ |
| 3. 個別に対応している(決まった検討体制はない) | →問8へ |

問7 問6で「1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」、「2. 不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した方にお伺いします。
校内ではどのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。

(1) 情報共有・対応の検討の方法等(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---|------------------------------|
| 1. 学年部会 | 2. ケース会議 |
| 3. 生活指導部会など | 4. 児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有 |
| 5. 児童生徒支援加配担当教諭など学校内・関係機関との連絡調整・会議開催の調整など児童生徒の抱える課題の解決に向けて調整役として活動する教職員の配置・指名 | |
| 6. その他() | |

(2) (1)で「1. 学年部会」、「2. ケース会議」、「3. 生活指導部会など」、「6. その他」と回答した方にお伺いします。

どの教職員が参加していますか。また、会議の頻度はどれくらいですか。(あてはまる欄に番号を記入)

	参加者	頻度
1. 学年部会		
2. ケース会議		
3. 生活指導部会など		
6. その他		

<参加者の選択肢>

- | | | | |
|---------------|---------|-----------|---------|
| 1. 校長 | 2. 教頭 | 3. 学年主任 | 4. 担任教諭 |
| 5. 生活指導教諭 | 6. 養護教諭 | 7. SC | |
| 8. 外部の関係機関() | | 9. その他() | |

<頻度の選択肢>

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1. 毎週 | 2. 2週間に1回程度 | 3. 月に1回程度 |
| 4. 半年に1回程度 | 5. 年に1回程度 | 6. 適宜 |

問8 貴校ではどのような体制・方法で情報共有・対応の検討を行っていますか。
関わる教職員、情報共有や検討の方法について、具体的にお教えてください。

問9 問6で「個別に対応している(決まった検討体制はない)」と回答した方にお伺いします。
問5のケースについて、貴校ではどのような体制・方法で情報共有・対応の検討を行っていますか。
関わる教職員、情報共有や検討の方法、頻度等について、具体的にお教えてください。

問10 問5のケースについて、学校以外の関係機関と連携して、必要に応じて情報共有や対応の検討を行うための体制がありますか。それぞれのケースについてお答えください。また、連携体制がある場合は、連携する関係機関を選択肢からお選びください。

ケース	体制(1つに○)	関係機関(あてはまる数字を記入)
1. 要保護児童対策地域協議会の登録ケース	1. ある _____ 2. 特にない	→
2. 不登校のケース	1. ある _____ 2. 特にない	→
3. それ以外	1. ある _____ 2. 特にない	→

<関係機関の選択肢>

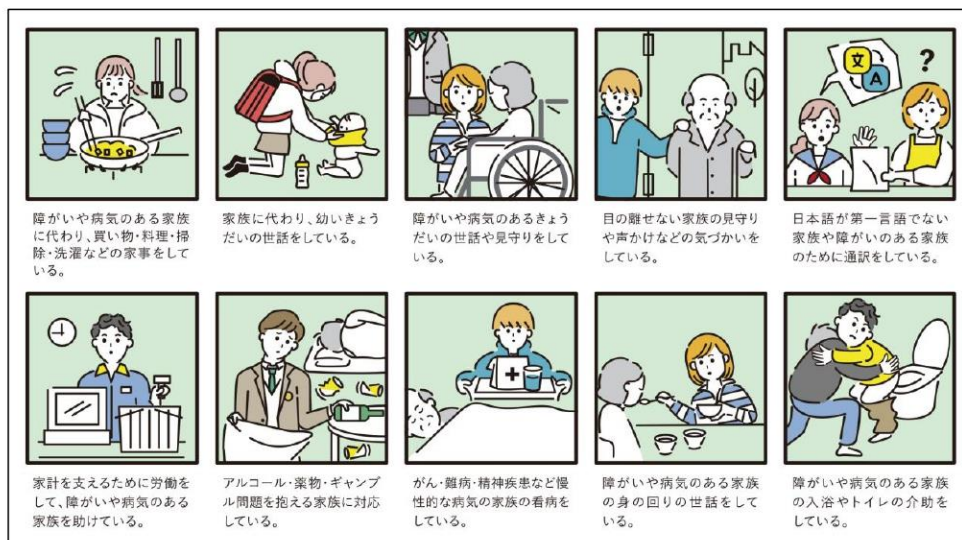
<p>【行政】</p> <p>1. 児童相談所</p> <p>2. 市福祉事務所子育て支援係 (要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門)</p> <p>3. 市保健部門</p> <p>4. 市その他の部門</p> <p>5. 警察や刑事司法関係機関(少年院、保護観察所など)</p> <p>【医療】</p> <p>6. 医療機関</p> <p>7. 訪問看護事業所</p> <p>【保育・教育】</p> <p>8. 関係小学校・中学校・高等学校・教育委員会</p> <p>9. 保育園・幼稚園</p> <p>10. 教育センター</p> <p>11. フリースクール・適応指導教室</p> <p>【障がい者支援】</p> <p>12. 障がい者基幹相談支援センター</p> <p>13. 障がい者相談支援事業所</p> <p>14. 障がい者福祉サービス事業所(ホームヘルプ)</p>	<p>【高齢者支援】</p> <p>15. 居宅介護支援事業所 (ケアプラン・ケアマネージャー)</p> <p>16. 地域包括支援センター</p> <p>【権利擁護】</p> <p>17. 福岡人权擁護委員協議会</p> <p>18. 弁護士会</p> <p>19. 成年後見推進センター</p> <p>【地域における子ども等支援】</p> <p>20. 社会福祉協議会</p> <p>21. 民生委員・主任児童委員</p> <p>22. 子ども食堂などの民間団体・施設</p> <p>【外国人支援】</p> <p>23. 福岡県外国人相談センター</p> <p>24. その他()</p>
---	---

Ⅲ. ヤングケアラーについてお伺いします。

ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている児童・生徒のことです。

責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

<ヤングケアラーのイメージ例>



出典：こども家庭庁 (<https://www.cfa.go.jp/policies/young-carer>) (参照 2024-03-21)

問11 貴校ではヤングケアラーという概念を認識していますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 言葉を知らない →問15へ
2. 言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない →問15へ
3. 言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない →問15へ
4. 言葉を知っており、学校として意識して対応している →問12へ

問12 問11で「4. 言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した方にお伺いします。
ヤングケアラーと思われる子どもの実態を把握していますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 把握している →問13へ
2. 「ヤングケアラー」とと思われる子どもはいるが、その実態は把握していない →問15へ
3. 該当する子どもはいない(これまでいなかった) →問15へ

問13 問12で「1. 把握している」と回答した方にお伺いします。

ヤングケアラーと思われる子どもをどのように把握していますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている
2. 特定のツールはないが、児童生徒や保護者の話や様子から把握している。
3. その他()

問14 問12で「1. 把握している」と回答した方にお伺いします。

ヤングケアラーの実態把握に取り組む際に工夫していること・難しいことについて、具体的にお教えください。

問15 現在、貴校にヤングケアラーと思われる(可能性も含めて)子どもはいますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. いる →問16へ
2. いない →問19へ
3. 分からない →問18へ

問16 問15で「1. いる」と回答した方にお伺いします。

(1) ヤングケアラーと思われる子どもの状況は下記のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 障がいや病気のある家族に代わり、家事(買い物、料理、洗濯、掃除など)をしている
2. 家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている
3. 家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている
4. 目を離せない家族の見守りや声かけをしている
5. 家族の通訳をしている(日本語や手話など)
6. 家計を支えるためにアルバイト等をして、障がいや病気のある家族を助けている
7. アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している
8. 病気の家族の看病をしている
9. 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている
10. 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている
11. その他()

(2) ヤングケアラーと思われる子どもについて、具体的に学校以外の外部(教育委員会、市役所、要保護児童対策地域協議会など)の支援につないだケースはありますか。平成27年以降でお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 市福祉事務所子育て支援係(要保護児童対策地域協議会)に通告したケースがある →問19ハ
2. 市福祉事務所子育て支援係(要保護児童対策地域協議会)に通告はするほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある →問19ハ
3. 外部の支援にはつないでいない(学校内で対応している) →問17ハ
4. 分からない →問19ハ

問17 問16(2)で「3. 外部の支援にはつないでいない(学校内で対応している)」と回答した方にお伺いします。

その理由をお教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校内で対応できているから
2. 外部の支援につなぐほどの課題がないと思われるため
3. 保護者との連携や関係者による支援を得られているため
4. 実態を把握している段階であるため
5. 家庭内の様子が分からず、確証がないため
6. 本人から誰にも知られたくないと伝えられているから
7. つなぎ先が分からないため
8. その他()

問18 問15で「3. 分からない」と回答した方にお伺いします。

その理由をお教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
2. 不登校やいじめなどに比べ緊急度が低いいため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる
3. 家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい
4. ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない
5. その他()

問19 ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子ども自身がヤングケアラーについて知るための教育・啓発
2. 保護者がヤングケアラーについて知るための啓発・情報提供
3. 教職員がヤングケアラーについて知ること
4. 学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること
5. SSW や SC などの専門職の配置が充実すること
6. 子どもが教職員に相談しやすい関係をつくること
7. ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること
8. 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること
9. 学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること
10. ヤングケアラーを支援するNPOなどの団体が増えること
11. 福祉と教育の連携を進めること(具体的に)
12. その他()
13. 特になし

問 20 学校でヤングケアラーの対応をする上で、課題だと思うことはどのようなことですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校においてヤングケアラーの概念や支援対象としての認識が不足している
2. ヤングケアラーの子どもに関する実態の把握が困難である
3. ヤングケアラーである子どもやその家族がヤングケアラーという問題を認識していない
4. その他()

問21 ヤングケアラーを支援するにあたって、学校で、今後取り組み可能なことはどのようなことですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 子ども自身へのヤングケアラーについての啓発
2. 保護者に対するヤングケアラーについての啓発・情報提供
3. 教職員に対するヤングケアラーについての研修
4. 学校内のヤングケアラーの把握
5. SSW や SC などの専門職の配置推進
6. 子どもが教職員に相談しやすい関係の構築
7. ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること
8. 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口の設置
9. ヤングケアラーを支援する NPO などとの連携
10. 福祉に関する外部機関との連携(具体的に)
11. その他()
12. 特になし

(1) 問21について現場として優先して取り組みたいと思っている項目を優先順位が高い方から3つお教えてください。

優先順位1位:() 優先順位2位:() 優先順位3位:()

問22 ヤングケアラーを支援するために、学校が今後、連携を強化していく必要があると思う機関についてお教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

【行政】	【高齢者支援】
1. 児童相談所	15. 居宅介護支援事業所
2. 市福祉事務所子育て支援係 (要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門)	(ケアプラン・ケアマネージャー)
3. 市保健部門	16. 地域包括支援センター
4. 市その他の部門	【権利擁護】
5. 警察や刑事司法関係機関(少年院、保護観察所など)	17. 福岡人権擁護委員協議会
【医療】	18. 弁護士会
6. 医療機関	19. 成年後見推進センター
7. 訪問看護事業所	【地域における子ども等支援】
【保育・教育】	20. 社会福祉協議会
8. 関係小学校・中学校・高等学校・教育委員会	21. 民生委員・主任児童委員
9. 保育園・幼稚園	22. 子ども食堂などの民間団体・施設
10. 教育センター	【外国人支援】
11. フリースクール・適応指導教室	23. 福岡県外国人相談センター
【障がい者支援】	24. その他()
12. 障がい者基幹相談支援センター	
13. 障がい者相談支援事業所	
14. 障がい者福祉サービス事業所(ホームヘルプ)	

(1) 問22について現場として優先して連携強化していきたいと思っている機関の優先順位が高い方から3つお教えてください。

優先順位1位:() 優先順位2位:() 優先順位3位:()

問23 ヤングケアラーに関して、ご意見・ご提案・ご要望等あればご自由にお答えください。

ヤングケアラーの子どもは、「宿題や忘れ物が多い」「授業中に疲れて眠ってしまう」といった普段とは違う様子が見られることに学校の先生が気付いたことで、支援につながる例が数多くあります。

子どもがケアを担っている家庭には、それぞれ様々な事情があり、適切な支援を行うにはスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、要保護児童対策地域協議会などに加え、医療や介護、福祉分野の関係機関との連携も必要となるかもしれません。

ヤングケアラーを支援するための仕組みづくりは多くの自治体で緒に就いたばかりかと思いますが、子どもたちの権利が守られるよう、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

アンケートにご回答いただき、誠にありがとうございました。

気づいたら、ためらわず、すぐに相談

児童虐待およびヤングケアラー相談窓口

機関名	相談機関／電話番号	開設時間
うきは市役所 (要保護児童対策地域協議会)	福祉事務所 子育て支援係 0943-75-4961	月～金 8:30～17:15
久留米児童相談所 (県 虐待対応担当)	相談第2課 0942-32-4458	月～金 9:00～17:00
児童相談所 虐待対応ダイヤル	☎ 189 (いちはやく)	緊急時 24時間 365日
うきは警察署	生活安全課 0943-76-5110	緊急時 24時間 365日

うきは市
ヤングケアラー支援のための子どもの生活実態調査 報告書
令和6年3月発行

発行 うきは市 福祉事務所 子育て支援係
〒839-1393 福岡県うきは市吉井町新治316番地
TEL 0943-75-4961
FAX 0943-75-4963